

地震・津波災害①

地震・津波について知り、いざという 時の備えを万全にしておきましょう。

▶ 地震への備え

地震は突然起こります。家族の安全と被害を最小限に食い止めるためにも日頃からの準備が必要です。家族で防災について話し合い、災害から身を守りましょう。

わが家の耐震診断



- ✓ 家の間取りから、水まわり、ガスの位置、電気のブレーカー、家具の位置をチェックする。
- ✓ 家屋の耐震診断は専門家に相談し、補強等を実施する。

高い所に重い物を置かない



- ✓ 地震時の落下によるケガの原因になるので、家具の上にテレビなどの重い物を置かない。

燃えやすいものを置かない



- ✓ 二次災害を防ぐため、台所のガス台付近、ストーブのまわりなど、火元となる場所に燃えやすい物を置かない。

家族で話し合い



- ✓ 家族の役割分担や、途中で家族が離ればなれになった場合の集合場所も決めておきましょう。

✓ わが家の地震対策チェック

自宅の安全対策について点検し、対策が出来ていれば
✓にチェックを入れましょう。
不備な点がある場合は急いで対策を行いましょう。

- ☐ 家具は固定していますか。
- ☐ 照明器具はしっかり固定していますか。

- ☐ 台所、寝室に火災警報器を設置していますか。

- ☐ エアコンはしっかりと固定していますか。

- ☐ 灯油タンクはしっかりと固定していますか。

- ☐ 棚、タンスなどの上に、重い物を置いていませんか。

- ☐ ブロック塀は、ぐらついていませんか。鉄筋は入っていますか。

- ☐ プロパンガスボンベは、しっかりと固定していますか。配管はぐらついていませんか。

- ☐ 消火器を置いていますか。使い方を知っていますか。使用期限は過ぎていませんか。

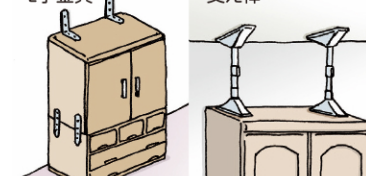
- ☐ ストーブ、ガスレンジなどの、火元まわりに燃えやすいものを、置いていませんか。

✓ 室内の安全対策チェック

室内の家具も地震時には凶器となり得ます。家具を固定し、安全対策に努めましょう。
自宅の安全対策について点検し、対策が出来ていれば
✓にチェックを入れましょう。

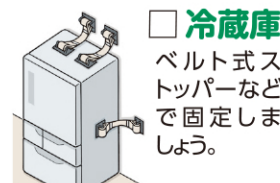
L字金具

支え棒



タンス・本棚

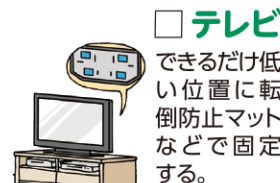
L字金具で固定する。住宅事情により金具が取り付けられない場合は、支え棒が便利です。



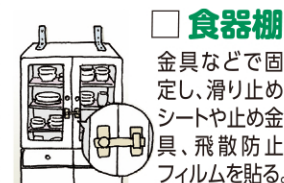
- ☐ 冷蔵庫
ベルト式ストッパーなどで固定しましょう。



- ☐ 照明器具
チェーンと金具で止める。蛍光灯は耐熱テープで止める。



- ☐ テレビ
できるだけ低い位置に転倒防止マットなどで固定する。



- ☐ 食器棚
金具などで固定し、滑り止めシートや止め金具、飛散防止フィルムを貼る。



- ☐ ピアノ
ナイロンロープなどを巻きつけ固定。脚には、すべり止めをつける。

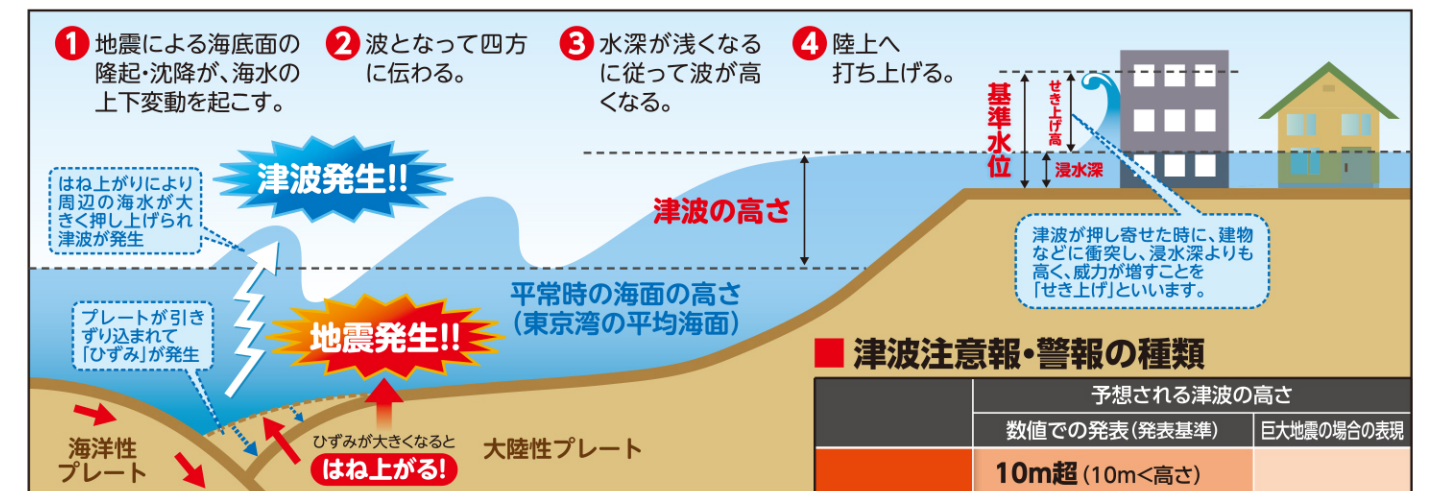


- ☐ 暖房機器
耐震自動消火装置付きのものが望ましい。周囲に燃えやすい物を置かない。

▶ 津波についての予備知識

○ 津波のしくみ

海底で発生した地震に伴う海底の隆起・沈降、地すべりなどが原因で、海水が陸地に押し寄せる現象を「津波」といいます。津波は地震だけではなく、海底での地崩れや海底火山の噴火などによっても引き起こされる場合があります。



■ 津波注意報・警報の種類

	予想される津波の高さ	
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の場合の表現
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨 大
	10m (5m<高さ≤10m)	
	5m (3m<高さ≤5m)	
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高 い
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)

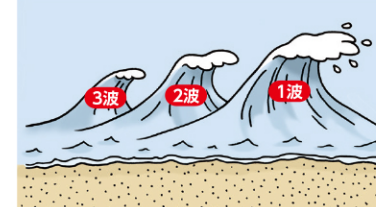
■ 基準水位とは?

基準水位は、津波浸水想定の高さに、津波が建物等に衝突した際のせり上がり高さを加えた水位です。指定避難施設の指定や津波災害特別警戒区域における建築等の許可の際に基準として用いられます。

なお、基準水位は津波浸水想定における浸水深と同様、地盤面からの高さ (水深) で表示します。

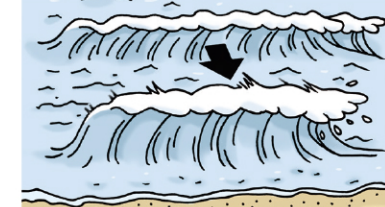
○ 津波の注意点

津波は繰り返して来る!



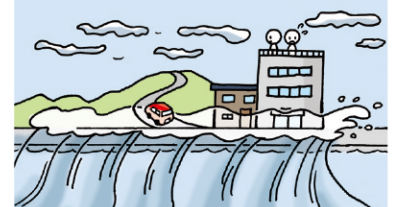
津波は2波、3波と繰り返して襲ってきます。注意報・警報が解除されるまでは避難していきましょう。

津波のスピードは速い!



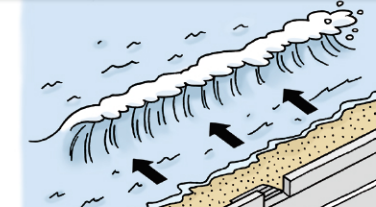
「注意報」や「警報」が出る前に来る津波もあり、津波の速度は海岸付近でも時速36km (秒速10m) 程度もあります。

津波の高さに注意!



海岸の地形などによって予想された津波の高さを超える津波が発生する場合があります。

引き潮がなくても注意!



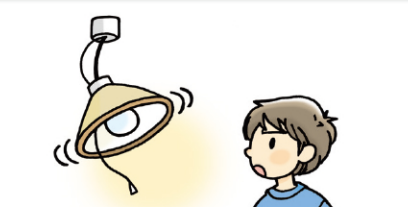
津波の前に必ず引き潮があるとは限りません。地震の起こり方や地形によっては引き潮が起こらない場合もあります。

満潮時は要注意!



満潮時は水位が高くなっているため、津波がより大きくなります。

弱い地震でも要注意!



弱い地震でも揺れが長く続いた時などは津波が襲ってくる可能性があります。